

## ハイビスカス マホガニースプレnder

学名: *Hibiscus acetosella*

種子粒数の目安: 83 粒/グラム

### プラグ生産ステージ

#### 培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC は中庸(0.5mmhos/cm(1:2))を維持する

#### 播種

**プラグトレイサイズ:** 200 穴あるいはそれよりも大きなサイズのトレイに 1 粒を播種する。種子に十分な水分の供給し、また苗が横にずれたりしないように、プラグ用の培地あるいはパーミキュライトなどで厚くしっかりと覆土をする

ステージ 1 - 発芽日数は 2, 3 日

**温度:** 21 から 24°C。発芽は、チャンバーの中で 18°C くらいの低い温度でも可能だが 1 日長くなる

**光条件:** 発芽には光は不要

**水分:** 発芽時は、水分レベルをやや湿潤の level 4 に維持

**湿度:** 子葉が発生する頃までは相対湿度を 95-97%

ステージ 2

**温度:** 20 から 23°C

**光条件:** 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

**水分:** ステージ 2 においては、やや湿潤の level 4 から中位の level 3 の間で維持する

**肥料:** リン酸の低い硝酸態の肥料をレート 1(100ppm(N)以下、EC0.7 mS/cm)で与える

ステージ 3

**温度:** 20 から 22°C

**光条件:** 54,000 ルクス(5,000 f.c.)を上限とする

**水分:** 水分レベルはやや湿潤(level 4)から中位(level 3)の範囲で維持。苗を枯らせないように注意する

**肥料:** 肥料の濃度をレート 2(100-175ppm (N)、EC 値 0.7-1.0mS/cm(1:2))に上げる

**矮化剤:** B ナインを 2,500ppm、サイコセルを 300ppm のタンクミックスでプラグ苗に散布する

ステージ 4

**温度:** 18 から 21°C

**光条件:** 54,000 ルクス(5,000 f.c.)

**水分:** ステージ 4 では中位の level 3 を維持

**肥料:** ステージ 3 と同じ

### 鉢上げから出荷まで

#### 用土

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.2、EC は 0.75mmhos/cm とする

#### 温度

**昼間温度:** 17-19°C

**夜間温度:** 18-21°C

#### 照度

できるだけ高い照度を維持する

#### 日長時間との関係

マホガニースプレnderは観葉品種として紹介されているが、日長が 12 時間あるいはそれよりも短日の条件で開花する。ただし、12 時間を超える日長条件であれば、開花まではかなりの時間を要し、あるいは着蓄しない

#### かん水

適度なかん水を続ける。多少、過湿の状態であっても株に影響は出ない

#### 肥料

移植後1週で、硝酸態を主体とした、リン酸が少なくカリウムの多い肥料を用いて、レート 3(175-225ppm(N)、EC:1.2-1.5mS/cm)から開始する。pH が 5.8 から 6.2 の適正域にあることを確認する

#### PGR(矮化剤)

矮化剤とピンチ(下記参照)を併用することで、コンパクトで層の厚い草姿に、またダークパープルの美しい葉色に仕上げるのが可能です

▶ 移植から 2 週間後、2 週に 1 回の頻度で B ナインを 2,500ppm、サイコセルを 750 から 1,000ppm のタンクミックスで温度などの条件を見ながら処理する

▶ B ナインとサイコセルのタンクミックスの代わりに、ボンザイを用いることも可能。温度などの条件を見ながら 5 から 10ppm で処理する。必要に応じて繰り返して、濃度を 10 から 15ppm まで上げることも可能。また温度の高い条件では、1ppm のボンザイをかん注処理でも効果がある

#### 【北ヨーロッパのような特殊な条件】

タンクミックスにおいて、サイコセルの濃度を 350ppm から開始する。株の生長とともに濃度を上げるが、750ppm を超えないように注意する

## ピンチ

ソフトピンチを行うことで分枝の発育が促されます。本葉が5,6枚から7,8枚に達する、だいたい移植から2週を目安にピンチを行う。低い位置からハードピンチを行うと株の中央が開いてしまうので十分に注意する

## 平均的な生産期間

播種から移植まで(200穴トレイ): 約2から3週

コンテナ・ポット サイズ	株本数/ ポット・コンテナ	出荷適期までの 週数*
10-12cm ポット	1	5-6
15cm ポット	1	6-7
20cm ポット	1	6-8

\*: 出荷までの週数は移植から開花(出荷)までの期間

## 病例等

スリップスに注意する

## 定植場所や配置について

マホガニースプレnderは、日あたりのよい場所に植え(または配置)しましょう。ハイビスカスは水辺に近い土壌やウォーターガーデンのような条件でもよく育ちます。また一度根付いたら乾燥にもひじょうに強い植物です

草丈: 90-150cm

株張: 60-76cm

定植時の株間: 60-90cm

## 注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

**EC 値について:** EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合があります。